

八王子市立緑が丘小学校「平成20年度授業改善推進プラン」

【八王子市教育委員会教育目標】

「あふれる元気」 健康な心身・活力
 「かがやく心」 豊かな知性と感性・個性
 「仲間とともに」 協調性・社会性
 「はばたけ未来へ」 意欲・積極性
 実験や観察の育成に向けた教育を推進する。

[教育目標]

つよく
 かしく
 あたかく

1 地域の実態

- ・自然が豊かで落ち着いている。
- ・家庭・地域は、学校に協力的である。
- ・新旧の住宅が混在している。

2 地域・保護者の期待や願い

- ・心の教育と確かな学力の定着への期待が大きい。

3 期待される児童像

- ・めあてを持ち、粘り強く取り組む子ども。
- ・よく考えて行動する子ども。
- ・認め合い、助け合う子ども。

《本校の現状》 「八王子市学力定着度調査」、「児童・生徒の学力向上を図るための調査」、「全国学力・学習状況調査」の結果から分析できること。
 (調査結果より)

- ・基礎的：基本的な知識・技能を確実に定着させることが課題である。
- ・知識的：技能を実際に活用する力の育成が課題である。
- ・基礎的：基本的な知識・技能の習得と自ら学び、自ら考える力の育成を総合的に進めることが必要である。

《指導改善のポイント》

- (国語) ・話し手の意図をつかみながら、適切に聞く能力や態度を育てる指導を重視する。
 ・(聴く・聞く)力の育成。読み取りの力を更に伸ばす。
 ・文脈の意味を考えながら同音異義の漢字を使い分ける指導を重視する。
- (社会) ・身の回りや社会事象についての興味・関心を育成する。
 ・資料活用能力、思考・判断力の育成を更に進める。
- (算数) ・思考・判断力等、数学的な見方、考え方を育成する。
 ・基礎・基本である知識・理解、技能を更に伸ばす。
 ・資料に示された情報から必要な情報を選択して問題を解決できる指導を重視する。
 ・複数の資料を比較して相違点を説明する活動の充実を図る。
- (理科) ・興味・関心の意欲をさらに伸ばし、実験・観察に積極的に取り組む。
 ・科学的思考力や論理的な考え方を育成する。

《本年度本校における学力向上のための重点方針》

- ・基礎的、基本的な学力の定着を図る指導法の工夫と指導體制の改善。
- ・確かな学力の育成を目指し、児童の興味関心を生かした体験的活動の重視。
- ・授業時数の確保、指導計画と評価計画の作成。教育環境の有効活用を推進。

《本年度の学力向上の具体策》(いつまでに、どの程度)

基礎的・基本的な学力の定着を図るために、授業の進め方を工夫する。
 (TT指導やインターシップ・ボランティアの活用により、個に応じた指導體制の確立)
 担任・図書ボランティアによる読み聞かせや朝読書などを通して、読書指導を充実させる。

- ・読書の幅を広げ、読書量を増やし読解力を高めると共に表現力をも磨く。
- ・聴く・話す場面をたくさん取り入れて、伝え合う力を養う。
- ・地域学習や体験学習を取り入れて、生きてはたらく確かな学力をはぐくむ。
- ・調べ学習を取り入れて、情報の取捨選択や整理など資料活用能力を伸ばす。
- ・全学年TT(算数)の授業を活用し、個に応じたきめの細かい指導を行う。
- ・具体的操作活動を取り入れた分かりやすい授業を展開する。
- ・豊かな学校周辺の自然環境を活かし体験学習を更に充実させ、確かな学力を伸長する。
- ・実験や観察で、予想・考察・説明・探求を丁寧に行い、科学的な思考力を育てる。
 上記の取り組みを通年行い、各教科とも1割以上の学力向上を目指す。

《学力向上の成果の検証及びその評価方法》

継続的な評価活動を行う。(週・月・学期・年間)P・D・S・C・Aのサイクルを活用し、日々の指導に活かしていく。

各教科・領域における評価計画や評価基準の見直しを常に行い、適切な評価がなされるようにする。

外部評価(学校評議員・各種アンケートなど)や保護者・児童アンケートを活用する。

担任・専科・TT担当者による情報交換を綿密に行い、児童個々に対する多面的な評価活動を充実させる。

日々の評価活動の充実を図ると共に児童自身が自己評価によって学習の振り返りができるようにする。

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・話したいという思いがある。順序や話す内容を意識することが課題。	・話し合う機会を多くもつ。その中で指導していく。	音楽	・歌唱は意欲的に取り組んでいる。リズム遊びは好きである。	・元気よく、恥ずかしくらずに表現できるように更に指導する。 (口を大きく開ける ・リズムカルに体を動かす) ・のびのびと表現できる
社会			図工	・伸び伸びと楽しく取り組むことができるが、思い通りに仕上げられない児童もいる。	・五体を意識できる教材を提示する。五感を使った活動を増やしていくことで感性を豊かにし、表現力を伸ばす。
算数	・数の把握の仕方や10までの数の構成、たし算・ひき算の力に個人差がある。	・ITなども利用して、個別の対応をする。具体物、半具体物の教具を使って指導していく。	家庭		
理科			体育	・楽しく運動に親しんでいる。身体能力や体力には個人差が大きい。	・基本の運動の充実を図る。身体活動を多くして、体力向上を図る。
生活	・人や自然との関わる体験には、個人差がある。	・体験(身近な自然)・栽培活動などを多く取り入れる。体験したことを発表したり、伝え合ったりしてコミュニケーション能力を高める場面を多く設定する。	総合的な学習の		
(道徳・学級会) 身近な問題から、話し合い活動を設定し、善悪の判断や望ましい生活習慣が身に付くようみ指導する。状況を判断した上で、自分の行動や考えを決められるようにする。					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・(聞く・聴く)力が弱い児童もいる。 ・話したいという思いが強いが、うまく伝わらない児童もいる。	・興味を持って聴けるような場面を多く設ける。 ・朝のスピーチなどで、話す機会を多くする。授業の中でも話し合いを多く取り入れる。	音楽	・歌唱は意欲的に取り組んでいる。 ・楽器の演奏には、個人差がある。	・音楽に親しむ機会を多くする。 ・楽器などの基本的な練習を繰り返し指導する。
社会			図工	・伸び伸びと楽しく取り組むことができるが、丁寧に仕上げられない児童もいる。 ・豊かな情操をはぐくむ作品鑑賞の時間が少々少ない。	・楽しい教材を提示する。・楽しい教材を明確にして、段階的に丁寧に指導する。 ・互いの作品を鑑賞し合い、お互いの良さを認め合う。
算数	・計算力や筋道を立てて考える力には、個人差がある。	・具体物等を使い、わかりやすく丁寧に教える。少人数コース別指導を充実させ個に応じたきめの細かい指導を行う。	家庭		
理科			体育	・体育に親しむ児童が多いが運動能力には、個人差が大きい。	・基本の運動の充実を図る。身体活動を多くして、体力向上を図る。
生活	・人や自然との関わり方には、個人差があり、自ら進んでコミュニケーションをとれない子もいる。	・身近な自然や人、栽培活動などを多く取り入れる体験をしたり、伝え合ったりして、コミュニケーション能力を高める場面を多く設定する。	総合的な学習の		
(道徳) 日常生活の中から道徳的価値観について学び、よりよく生活しようとする態度や実践力をはぐくむ。					

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・文を書くことには、さほど抵抗のない児童が多いが、細かな描写が苦手な児童が多い。	・行事作文だけでなく、日常的にも文章を書く授業を多く取り入れることにより、思考力・書く力を伸ばしたい。	音楽	・個人としては、よく工夫し、練習して学んでいる。各自が工夫して練習したことを進んで発表し合い、評価し合って高まろうとする活動には課題がある。	・音楽的感覚や表現の技能の積み重ねの学習を大切にする。 ・友だちの良さを認め合い、発表し合う場面を多く設定する。 ・音楽の基礎的な力がつくよう課題が明確な授業を心がけていく。
社会	・地域の地理的環境についての知識が不足気味である。資料活用能力に課題がある。	・地域学習や体験学習を取り入れて、地域環境を学ぶ機会を多くする。	図工	・全体的に意欲的に取り組む児童が多く、楽しく取り組んでいるが、一部の児童に忘れ物や図工室でのルールを守れない子がいる。 ・手先を使うことを面倒だと感じている児童の増加をくい止めることが課題である。	・3年生の内に基礎的な力をつけることと、図工室でのルールを守れるようにさせたい。 ・手仕事の充実やそれぞれの道具の正しい使い方・安全指導の徹底と充実。
算数	・表現処理能力はあるが、考え方や理解については課題がある。	・具体物等を使ったわかりやすい授業を展開する。IT指導を充実させ個に応じたきめの細かい指導を行う。	家庭		
理科	・興味関心が強いが、自然や科学的事象についての理解や思考については課題がある。	・豊かな学校周辺の自然環境を生かし体験学習を充実させ、確かな学力をはぐくむ。	体育	・とても意欲があり、多くの児童が運動に親しんでいる。技能や運動能力を高めるのが課題である。	・基本の運動の充実を図る。身体活動を多くして、体力向上を図る。個別指導にも力を入れる。
生活			総合的な学習の	・養蚕や栽培活動等に取り組んでいる。自ら進んで学ぼうとする態度を更に高めることが課題である。	・意欲が高まる学習材の提示や興味関心を活かした体験活動の更なる充実。
その他(道徳・特別活動等)善悪の判断が正しくできるように、学校生活の中から日々問題提起を行い、話し合い活動を通して道徳性を高める。					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	・話すことが好きな児童が多いが、筋道を立てて話したり、話の中心に気をつけて聴くことには課題がある。	・話し方や表現についてはその都度指導をする。 ・主語・述語を意識しながら例文作りをさせる。	音楽	・個人としては、よく工夫し、練習して学んでいる。各自が工夫して練習したことを進んで発表し合い、評価し合って高まろうとする活動には課題がある。	・音楽的感覚や表現の技能の積み重ねの学習を大切にする。 ・友だちの良さを認め合い、発表し合う場面を多く設定する。 ・音楽の基礎的な力がつくよう課題が明確な授業を心がけていく。
社会	・実体験が少なく思考・判断や知識・理解に課題がある。	フィールドワークを増やし、実体験をさせる工夫をする。	図工	・意欲的取り組み表現力をつけてきている児童が多いが、もう一步自分らしい個性のある表現力をつけるという課題がある。 ・多くの児童は、手を使うことを面倒くさがることなく、楽しく取り組んでいるが、児童によっては面倒くさがる子もいるので、手仕事の充実が課題である。 ・手加減のできる道具の指導。	・基礎的な力をつけ、豊かな表現力を伸ばす指導の充実。 ・手仕事の充実やそれぞれの道具の正しい使い方の指導。 ・安全指導の充実。
算数	・基本的な計算力に課題がある。 数字と量感覚がはっきりとむすびついていないため、立式に課題がある。	・イメージ化ができるように具体的な操作活動を多く取り入れた指導を行う。 ・繰り返し復習する。	家庭		
理科	・興味関心が強いが、自然や科学的事象についての理解や思考については課題がある。	・豊かな学校周辺の自然環境を生かし体験学習を充実させ、確かな学力をはぐくむ。	体育	・とても意欲があり、多くの児童が運動に親しんでいる。技能や運動能力を高めるのが課題である。	・児童個々の技能や能力を高めるために、学習カードを工夫する。
生活			総合的な学習の	・森(環境)、情報教育(インターネット)の基礎・基本を学んでいる。自ら進んで学ぼうとする態度を更に高めることが課題である。	・意欲が高まる学習材の提示や興味関心を活かした体験活動の更なる充実。教科の発展として、調べ学習や発表活動を更に深化させる。
その他(道徳・特別活動等)善悪の判断が正しくできるように、学校生活の中から日々問題提起を行い、話し合い活動を通して道徳性を高める。					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科	現状と課題	改善策
国語	・自分の考えを進んで表現できる児童が限られている。音読の声も小さい。全体的に読書好き。漢字はミニテストの結果はよいが確かな定着に課題。作文は、個人差が大きい。 読み取る力を付けることが課題。	・グループを工夫し、発表の機会を多く取り入れる。マスターノートを活用し漢字学習を徹底する。作文の技能を高めるために描写力を取り立てて指導する。教材研究を深めると共に音読指導を繰り返し行い、読解力を高める。	音楽	・個人としては、よく工夫し、練習して学んでいる。各自が工夫して練習したことを進んで発表し合い、評価し合って高まろうとする活動には課題がある。	・音楽的感覚や表現の技能の積み重ねの学習を大切に。 ・友だちの良さを認め合い、共に高まろうとする場面を多く設定する。 ・音楽の基礎的な力がつくよう課題が明確な授業を心がけていく。
社会	・社会事象への興味・関心は個人差が大きい。資料の読み取る力の定着が不十分。 ・資料を効果的に活用し、調べたことを的確に表現する力を伸ばしたい。	・新聞やテレビのニュース等を通して社会的な事象に興味を持ち考える力を付ける。(朝の会で発表など) ・調べ学習を取り入れ、情報の取捨選択や整理ができる力を付ける。資料活用を課題にして、調べたりまとめたりさせる。	図工	・意欲的取り組み、表現力も伸びてきているが、もう一歩自分らしい豊かな個性のある表現力をつけるという課題がある。 ・多くの児童は、手を使うことを面倒くさがることなく、楽しく取り組んでいるが、児童によっては面倒くさがる子もいるので、手仕事の充実が課題である。 ・手加減のできる道具の指導。	・基礎的な力をつけ、豊かな表現力を伸ばす指導の充実。 ・手仕事の充実やそれぞれの道具の正しい使い方の指導。 ・安全指導の充実。
算数	・計算は抵抗無く取り組む児童が多いが、ミスが目立つ。 ・数学的な見方、考え方を必要とする文章問題や単位換算が苦手な児童が多い。量の概念をどう育てるかも課題である。	・毎日算数プリントの課題を出し、計算に対して粘り強さを育てる。 ・計算問題では、見直しを徹底する。 ・算数的な活動(操作活動)を取り入れた授業を展開する。 ・問題の場面を自分なりに絵や図に表して考える時間を与える。また、友だちに説明させる場を設ける。	家庭	・生活体験の違いによる作業等に要する時間の差が大きい。限られた授業時間の中で全児童に確かな知識・技能を習得させることが課題である。	・授業内容を工夫し、個々の習熟度を見極めながら授業を進める。 ・器具や授業課程を工夫して個に応じた指導を展開する。 ・担任や保護者との連携・協力体制を構築し、確かな学力をはくむ。
理科	・全体的に興味関心があり、実験・観察に意欲的に取り組んでいる。 ・変化の条件に着目し、観察や実験の結果を考え実行する力、実験の結果を科学的に考察する力を付けたい。	・観察、実験の計画や意味をグループや全体の場で話し合い、意見交換しながら理解を深めさせる。	体育	・体を動かすことを好み、チームでゲームを楽しんだり、力を合わせて運動したりすることができる。自己の体力に目を向け、進ん鍛えるようになることが課題。 ・集団行動を身につけたり、作戦を立ててゲームができるようにする。	・運動の特性に応じた技能が身に付くように、練習方法を工夫する。 ・ゲームでは、チームにあつたためあてやルールや場にあつた作戦を考えさせる。
生活			総合的な学習の	・課題解決に必要な情報を得たり、調べたことをまとめたり、伝えたりすることが好きな児童が多い。 ・体験的な学習には、興味・関心を持って取り組む。	・グループ活動を取り入れ、プレゼンテーションで表現する場を多く設ける。 ・ゲストティーチャーを招いて児童の関心意欲を更に喚起する。
<p>その他(道徳・特別活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係・当番・委員会・清掃活動、学校行事に説教的に取り組ませ、責任を持って最後までやり抜く力、よく考え判断して行動する力、みんなのために進んで働く態度を育てる。 ・相手の立場や気持ちを考え共に助け合えるようにする。 ・挨拶、返事、言葉遣いがしっかりとできるように日常的に指導していく。 ・食育に取り組み、感謝して食べ物をいただく心を育て、好き嫌い無くしっかり食べるようにする。 					

教科等の現状と課題及び授業の改善点

教科等	現状と課題	改善策	教科等	現状と課題	改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や要旨をとらえながら読むことが苦手である。 ・自分の考えを進んで表現できる児童が、限られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉に着目し、内容や情景などを考えながら読むようにする。 ・自分の考えをまとめる時間を取り、グループで発表するなど、発表の機会を多くする。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・個人としては、よく工夫し、練習して学んでいる。各自が工夫して練習したことを進んで発表し合い、評価し合って高まろうとする活動には課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽的感覚や表現の技能の積み重ねの学習を大切にする。 ・友だちの良さを認め合い、共に高まろうとする場面を多く設定する。 ・音楽の基礎的な力がつくよう課題が明確な授業を心がけていく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の事象への興味関心は、個人差が大きい。 ・資料を効果的に活用する力が、不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞やテレビのニュース等を通して社会的な事象に興味を持ち考える力を付ける。 ・調べ学習を取り入れ、情報の取捨選択や整理ができる力を付ける。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的取り組み、表現力も伸びてきているが、もう一步自分らしい豊かな個性のある表現力をつけるという課題がある。 ・多くの児童は、手を使うことを面倒くさがることなく、楽しく取り組んでいるが、児童によっては面倒くさがる子もいるので、手仕事の充実が課題である。 ・手加減のできる道具の指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な力をつけ、豊かな表現力を伸ばす指導の充実。 ・手仕事の充実やそれぞれの道具の正しい使い方の指導。 ・安全指導の充実。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算力が不十分。 ・文章題を読み取る力が弱い。 ・筋道を立てて考える力が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・TTの授業を十分活用して、個に応じた指導を行う。 ・考える時間を十分にとり、自分の考えを図や文や式で表し、筋道を立てて考える力をつける。 	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験の違いによる作業等に要する時間の差が大きい。限られた授業時間の中で全児童に確かな知識・技能を習得させることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容を工夫し、個々の習熟度を見極めながら授業を進める。 ・器具や授業課程を工夫して個に応じた指導を展開する。 ・担任や保護者との連携・協力体制を構築し、確かな学力をはくむ。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に興味関心があり、実験・観察に意欲的に取り組んでいるが、科学的思考力が十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察で、予想と考察を丁寧に言い、科学的な思考力を育てる。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことを好み、チームでゲームを楽しんだり、力を合わせて運動したりすることができる。 ・自己の体力に目を向け、体力を向上させるように意識をもって取り組むようにすることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の運動の充実を図り、体力の向上を図る。 ・達成感のもてる指導計画を立て、粘り強く取り組むよう指導する。
生活			総合的な学習の	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に必要な情報を得たり、調べたことをまとめたりすることが好きな児童が多い。 ・身近な環境(森等)を利用し切れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで調べる活動を取り入れ、調べたことを発表する場を多く設ける。 ・学校周辺の環境を活かし、体験を多く取り入れたカリキュラムを作成する。
<p>道徳・・・身近な問題から、心の内面を耕し道徳的实践力を養う。 あいさつ、言葉遣いがしっかりとできるように日常的に指導していく。まわりの人の気持ちを考え、助け合って行動できるようにする。</p> <p>特別活動・・・行事や委員会・クラブ活動を通して、一人一人が最高学年としての意識をもち、みんなのために進んで働けるようにする。 (縦割り班活動の中心となって、その充実を図り、最高学年としての責を果たす。)</p>					